

平成30年（2018年）8月24日

文部科学省 平成30年度 地域イノベーション・エコシステム形成プログラムに採択

【本件のポイント】

- 本学と山形県の共同申請プロジェクトが、平成30年度文部科学省「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」に採択。
- 山形大学の強みのひとつである「フレキシブル印刷デバイス技術」を核として事業化を推進し、地方創生に貢献。
- 詳細は9月6日(木)に開催する学長定例記者会見でご説明する予定です。



フレキシブル基板

【概要】

本学と山形県が共同で申請し、フレキシブル印刷エレクトロニクス研究の第一人者である時任静士教授（有機材料科学・電子デバイス）を中心研究者として推進する「**有機材料システムの『山形』が展開するフレキシブル印刷デバイス事業創成**」事業が文部科学省平成30年度「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」に採択されました。（申請件数27件のうち、本学プロジェクトを含む5件が採択）

山形県産業振興ビジョンにも掲げられ、山形大学が研究を推進してきた世界屈指の「フレキシブル印刷デバイス技術」を用いて、地域の戦略的パートナー企業と協働し、事業化を推進するものです。高齢者介護・高齢者作業現場での社会課題に対して、グローバル展開を見据えたソリューションサービスとして事業化を目指します。

【地域イノベーション・エコシステム形成プログラムとは】

地域の成長に貢献しようとする地域大学に事業プロデュースチームを創設し、地域大学のコア技術等を核に、地域内外の人材や技術を取り込み、グローバル展開が可能な事業化計画を策定し、社会的インパクトが大きく地域の成長とともに国富の増大に資する事業化プロジェクトを推進するものです。事業化を通じて、日本型イノベーション・エコシステムの形成と地方創生を実現することを目的としています。

<参考> 文部科学省 http://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/chiiki/program/1367366.htm

【事業概要】

事業化プロジェクト・基盤構築プロジェクトの概要

	名称	今までの実績	今後の展開
事業化プロジェクト	1 非拘束型の大面積シートセンサによる介護システム	世界初・低温プロセスでの製造を可能とする銀ナノ粒子合成、圧電高分子のシートの作製と実験室レベルの実証	プロトタイプ試作・量産技術・システム化を大学と戦略的地域連携企業で行う。
	2 パーソナルユース無線 FHE モニタリングシステム	シリコンと印刷エレクトロニクスによるフレキシブルハイブリッドデバイス（FHE）の作製と実験室レベルの実証	プロトタイプ試作・量産技術・システム化を大学と戦略的地域連携企業で行う。
基盤構築プロジェクト	次世代プロジェクト	1. 「有機デバイスの信頼性を高める室温 ALD ナノ薄膜技術」 2. 「印刷型補助電極付透明電極形成のプロセス技術」 3. 「デバイスの耐久性を高めるナノ材料塗布プロセスによる有機無機界面設計技術」	
	人材育成	事業化人材と次世代プロデューサーの人材育成を展開する	

お問い合わせ 山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンター事務室 内藤・土屋
電話 0238-29-0566 Mail kouinoel@jm.kj.yamagata-u.ac.jp